

給食だより

２０２６．１月



新宿区立花園小学校
校　長　川崎　勝久
栄養士　野呂　遥夏

2026年が始まりました。給食室もきれいにそうじをして、新学期の準備もばっちりです！2026年もよろしくお願いいたします。

みなさんは、冬休みはゆっくりすごせましたか？冬の寒さは、まだまだ続きます。体調をくずさないよう規則正しい生活を心がけましょう。

～1月24日～30日は「全国学校給食週間」～

全国学校給食週間は、学校給食の意義、役割について理解や関心を深める１週間です。明治２２年に始まった学校給食は、戦争のため一時中断していましたが、ララ（アメリカの民間団体）などからの援助物資をうけて、昭和２１年１２月２４日に東京、神奈川、千葉で再開されました。この日を記念して「学校給食感謝の日」が定められ、現在では１月２４日からの１週間を「学校給食週間」としています。

今月の給食は、学校給食週間にあわせて東京の郷土料理（深川めし、ちゃんこ汁）や東京都産の食材（小松菜）を使った給食、タイムスリップ給食（クジラの竜田揚げ）が登場予定です。

～1月の行事食や食べることに関する記念日～

お正月に食べるおせち料理

おせち料理とは、もともと季節のかわり目の「節日」に、神様に供える食べ物の「御節供」が略されたものです。その後、特に大切な節日であるお正月のみ、「おせち料理」と呼ばれるようになりました。おせち料理の一つひとつに、意味があり、願いが込められています。

また、家庭や住んでいる地域によって、料理や重箱の詰め方なども違います。自分の住んでいる地域や家のおせち料理はどんなものでしょうか。



ⓒ少年写真新聞社2022

🌸年明けうどん🌸元旦から1月15日までに食べるうどんのこと。白いうどんに紅い具材をのせて紅白のめでたいうどんをその年の最初に食べることで、今年一年の幸せを願います。

🌸1月22日：カレーの日🌸1982年、全国の栄養士による会議で、学校給食週間の前に子どもたちの好きなカレーを全国の小中学校の給食で提供しようとよびかけたことにちなんでカレーの日と決められました。